

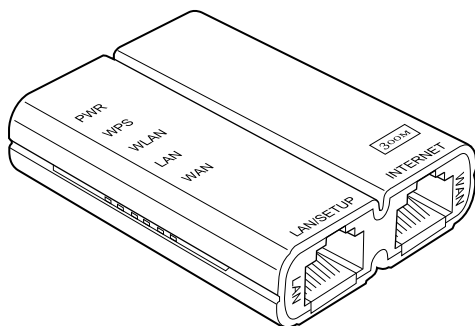


Broadband Router

ホテル用モバイル無線LANルータ

LAN-W300N/RSxシリーズ

詳細マニュアル



このマニュアルは、付属の「はじめにお読みください」「設定手順書」とあわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用 語	意 味
本製品	ホテル用モバイル無線 LAN ルータ「LAN-W300N/RSx」を「本製品」と表記しています。
11n/11g/11b	IEEE802.11n 規格を「11n」、IEEE802.11g 規格を「11g」、IEEE802.11b 規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線ルータ	無線 LAN ブロードバンドルータを略して「無線ルータ」と表記しています。
無線親機	無線ルータ、無線 AP を総称して「無線親機」と表記しています。
無線子機	無線 LAN 機能を内蔵した機器、無線アダプタを取り付けた機器、無線コンバータを接続した機器などを総称して「無線子機」と表記しています。また、無線アダプタ、無線コンバータそのものを「無線子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線 LAN 機能または有線 LAN アダプタを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記 号	意 味
 注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、ロジテック株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows Vista、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- iPad、iPod touch は、Apple Inc. の商標です。
- Android、Android ロゴは Google Inc. の商標または登録商標です。
- そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名 / 社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および TM は省略させていただきました。

ホテル用モバイル無線 LAN ルータ

LAN-W300N/RSx シリーズ

詳細マニュアル

はじめに

この度は、ロジテックのホテル用モバイル無線 LAN ルータをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警 告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
 注 意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警 告



本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。



本製品から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。



本製品を次のようなところで使用しないでください。

- ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- ・静電気の発生するところ、火気の周辺



長期間本製品を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
故障の原因になります。

無線 LAN をご使用になるにあたってのご注意

- 無線 LAN は無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線 LAN をご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線 LAN を使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。
- 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。
 - ・本製品を分解したり、改造すること
 - ・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
 - ・本製品を日本国外で使用するここれらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線 LAN システムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。
- 電子レンジの近くで本製品を使用すると無線 LAN の通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

安全にお使いいただくために	4
---------------	---

Chapter 1 概要編 7

1 製品の保証について	8
2 サポートサービスについて	9
3 本製品の概要について	10
本製品の特長	10
本製品の動作環境	12
4 各部の名称とはたらき	13
5 設定ユーティリティについて	14
6 セットアップを始める前に	15
接続事業者との契約状況を確認する	15
ブロードバンドモデムのタイプについて	16
設定に必要なプロバイダ情報を用意する	16

Chapter 2 導入編 19

1 セットアップの流れ	20
ホテルで使用する場合	20
ご自宅で使用する場合	21
2 セットアップを始める前に	23
本製品を接続する	23
3 ウィザードを使ったセットアップ	25
インターネット接続ウィザードについて	25
設定ユーティリティを表示する	26
インターネット接続ウィザードでセットアップする	28
4 無線 LAN で接続する	31
はじめにご確認ください	31
WPS ボタンを使って接続する	32
PIN コードを入力して接続する	34
手動設定で接続する	36
iPhone/iPad/iPod touch を接続する	38
Android スマートフォン / タブレットを接続する	42

Chapter 3 詳細設定編 47

1 設定ユーティリティ画面について	48
設定ユーティリティ画面を表示する	48
設定ユーティリティ画面の内容	49
2 インターネット接続ウィザード	50
3 無線設定	51
基本設定	51
上級者向け設定画面	54
アクセスコントロール画面	55
WPS 機能の設定	57
4 セキュリティを設定する(無線の暗号化)	58
WEP の設定	59
WPA-PSK/WPA2-PSK の設定	63
5 有線設定	66
LAN 側設定画面	66
固定 DHCP 設定画面	67
WAN 側設定画面	69
6 ファイアウォール設定	74
IPv6 ブリッジ画面	74
7 管理ツール	75
機器のステータス画面	75
ファームウェア更新画面	77
パスワード設定画面	78

Appendix 付録編 79

1 サービス情報サイト使用時の設定	80
2 こんなときは	82
3 パソコンの IP アドレスの確認方法	85
パソコンの IP アドレスを表示する	85
工場出荷時での表示結果	86
4 主な仕様と工場出荷時の設定	87
5 索引	88

Chapter 1

.....

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品の保証規定については、付属の「はじめにお読みください」をご覧ください。
お買い上げ時のレシートもしくは保証シールを、「はじめにお読みください」の該当欄に貼り付けて保管してください。

●保証期間

保証期間はご購入の日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。
詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

P9「2 サポートサービスについて」をお読みください。

2

サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ

6409.jp

(http:// は必要ありません)

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）

TEL：0570-050-060

受付時間：月曜日～土曜日 10:00 ～ 19:00

（祝日営業）※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・弊社製品の型番
- ・インターネットに関するプロバイダ契約の書類
- ・ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3 本製品の概要について

本製品の特長

● IEEE802.11n/g/b に準拠、100Mbps の超小型無線 LAN ルーター

11n 規格対応、最大 300Mbps（理論値）の無線通信に加え、100Mbps・1 ポートの LAN 側コネクタ及び、1 ポートの WAN コネクタを搭載しています。

また、同クラスのスペックでは業界最小の超小型サイズを実現。設置場所を選ばず、モバイルにも最適です。※ 2012 年 4 月末現在

● 付属の AC アダプタと別売の USB ケーブルから電源供給

付属の AC アダプタのほか、別売の microUSB（microB-A）ケーブル＋別売の電源供給アダプタから電源を給電することもできます。

● iPhone/iPad/iPod touch 専用アプリ「QR でかんたん接続」をご用意

iOS 4.0 以上でカメラ付きモデルの場合は、無線親機に接続するための専用設定アプリ「QR でかんたん接続」をご用意（「App Store」からダウンロードする必要があります）。

専用アプリを使用することで、簡単に iPhone/iPad/iPod touch と Wi-Fi 接続することができます。

● Android 専用アプリ「QR でかんたん接続」をご用意

無線親機に接続するための Android 端末専用の設定アプリ「QR でかんたん接続」をご用意（「Play ストア」からダウンロードする必要があります）。

専用のアプリを使用することで、簡単に Android 搭載スマートフォン / タブレットと Wi-Fi 接続することができます。

● ボタンひとつで設定完了、WPS 機能に対応した無線 LAN 設定方式を採用

面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線 LAN 接続を設定できる「WPS」機能に対応しています。本製品背面の WPS ボタンまたは設定ユーティリティ画面上的 WPS 実行ボタンを押すことで、セキュリティ設定済みの無線 LAN 接続を簡単に完了できます。

● IPv6 ブリッジ機能を搭載

さまざまなアプリケーションや音声映像を楽しめる IPv6 サービスを利用できるように、「IPv6 ブリッジ」機能を搭載しています。設定をオフにすることもできます。

● 各種無線セキュリティ機能に対応

新しい規格である WPA-PSK/WPA2-PSK に対応しています。WPA では、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、発信する SSID を無線クライアント側で表示されないようにする SSID ステルス機能、無線クライアントの MAC アドレスを指定してアクセスを制限するアクセスコントロール機能などを搭載しています。

● Web ブラウザベースの設定ユーティリティを搭載

本製品の設定は、クライアントパソコンの Web ブラウザ上から、本体に内蔵された Web ベースの設定ユーティリティを起動しておこないます。Web ブラウザからの解りやすいメニューで操作できます。インターネット経由でのアクセスも可能です。

● UPnP に対応

UPnP (Universal Plug and Play) に対応しています。Windows Messenger などの UPnP 対応ソフトが特別な設定をせずに利用可能なほか、UPnP 対応ネットワーク機器との組み合わせで本製品を自動的に認識、設定できます。

●その他多彩なルータ機能を装備

- ・「DHCP サーバ機能」を搭載し、パソコン側の IP アドレス設定などが不要
- ・ファームウェアを簡単にバージョンアップ可能
- ・設定内容およびアクセスログの保存が可能

●EU RoHS 指令に準拠

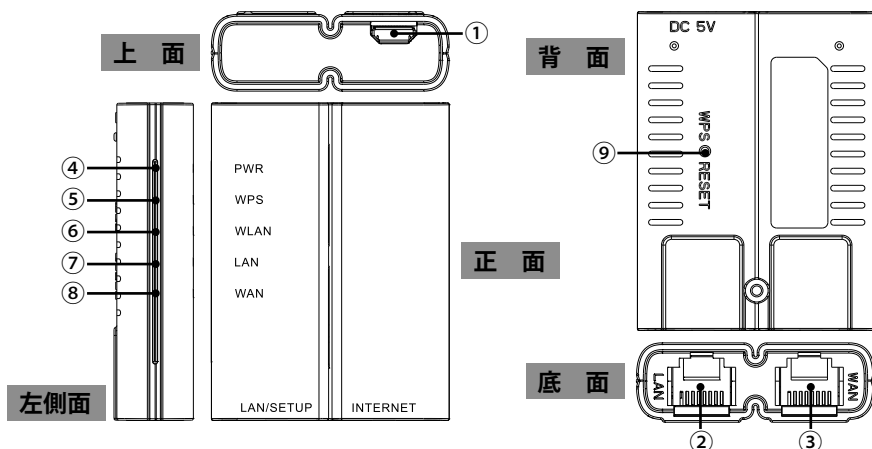
EU の「RoHS 指令（電器・電子機器に対する特定有害物質の使用制限）」に準拠した環境にやさしい製品となっています。

本製品の動作環境

弊社では以下の環境のみサポートしています。

対応機種および OS	Windows 7/Vista/XP を搭載する Windows マシン Mac OS X (10.7/10.6/10.5/10.4) をインストールした Intel 製 CPU を搭載した Mac
対応ブラウザ (Web 設定ユーティリティ)	Internet Explorer 5.5 以降

4 各部の名称とはたらき



①	電源ジャック (DC IN) microUSB	同梱の AC アダプタを接続します。また、別売の USB (microB-A) ケーブルを使うことで USB 給電もできます。
②	LAN/SETUP ポート (黒色)	パソコンからの LAN ケーブルを接続するポートです。パソコン上から本製品の設定を変更する際にも使用します。
③	WAN ポート (青色)	本製品とホテルに設置されている LAN 端子を LAN ケーブルで接続するポートです。
④	PWR ランプ (青色)	点灯：本製品の電源が入った状態です。
⑤	WPS ランプ (赤色)	点灯：WPS 機能が動作中です。(約 2 分で消灯します) 消灯：WPS 機能を使用していません。
⑥	WLAN ランプ (青色)	点灯：無線クライアント側とのリンクが確立しています。 点滅：データ転送中です。消灯：未接続の状態です。
⑦	LAN ランプ (青色)	有線 LAN で接続しているときに点灯または点滅します。 点灯：パソコンとリンクが確立しています。 点滅：データ転送中です。 消灯：未接続の状態です。
⑧	WAN ランプ (青色)	点灯：LAN 側とのリンクが確立しています。 点滅：データ転送中です。消灯：未接続の状態です。
⑨	WPS/reset ボタン	1 秒押すと WPS ランプが点滅し、WPS が実行されます。 10 秒以上押して離すと、本製品が初期化されます。 WPS ランプ点灯中は、電源を切らないでください。

5 設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Web ブラウザから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティのメニュー項目の構成について説明します。各メニュー項目の詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。



●設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをパソコンの Web ブラウザで表示するには、本製品とパソコンを有線 LAN で接続する必要があります。

●設定ユーティリティの表示方法

P48「設定ユーティリティ画面を表示する」をお読みください。



メニュー項目	内容
インターネット接続ウィザード	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。(→ P50)
無線設定	無線 LAN に関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定 (→ P51)、上級者向け設定 (→ P54)、セキュリティ設定 (→ P58)、アクセスコントロール (→ P55)、WPS 設定 (→ P57) があります。
有線設定	有線 LAN、WAN の設定をします。LAN 側設定 (→ P66)、WAN 側設定 (→ P69) があります。
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。(→ P74)
管理ツール	本製品を管理するためのメニューです。機器のステータス(→P75)、ファームウェア更新 (→ P77)、パスワード設定 (→ P78) があります。

6 セットアップを始める前に

本製品のセットアップ作業を始める前に、以下について確認します。
これらの確認事項は、本製品をご自宅で使用する際に必要な項目です。
ホテルでのご利用時は以下の項目の確認は不要です。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。

①回線事業者 / プロバイダと契約は完了していますか？

回線事業者やプロバイダとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスの場合は NTT とのご契約とは別にプロバイダとの契約が必要です。

②モデムなどの機器は準備できていますか？

本製品でインターネットを楽しむためには、ADSL/CATV/ 光ファイバーなどのブロードバンドモデムと本製品を接続する必要があります。モデムを別途購入されるように契約している場合は、対応モデムをご用意いただく必要があります。

③回線工事は完了していますか？

回線事業者 / プロバイダとの契約に加え、屋内までの配線工事とモデムの準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④パソコン側の必要な機器は準備できていますか？

本製品の設定および本製品と接続するネットワーク機器には、LAN アダプタ（イーサネットポート）が搭載されている必要があります。パソコン本体などに内蔵されていない場合は、別途 LAN アダプタを準備してください。また、無線で接続する場合は、IEEE802.11n/11g/11b いずれかの無線 LAN 機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに無線 LAN 機能が内蔵されていない場合は、別途無線子機を準備してください。各機器のセットアップ方法については、それぞれのマニュアルをお読みください。

ブロードバンドモデムのタイプについて

本製品は、ルータ機能に無線 LAN 機能を搭載した無線 LAN ルータです。現在、プロバイダから提供されるブロードバンドモデムには、すでにルータ機能が内蔵されている製品があります。

ルータ機能内蔵のブロードバンドモデムに本製品を接続する場合でも、本製品のウィザード機能を使用することで、適切な状態でインターネットに接続できます。

設定に必要なプロバイダ情報を用意する

本製品のウィザード機能は、ご使用になるインターネット回線の種別を自動的に判別しますので、一般的なインターネットサービスをご使用の場合は、あらかじめ回線の種別などを調べておく必要はありません。

ただし、NTT フレッツサービスなど PPPoE 接続を使用している場合は、プロバイダから提供されるユーザー ID とパスワードが必要になることがあります。また、固定 IP サービスなど特別なインターネットサービスをご利用の場合は、あらかじめ必要な情報をご用意ください。



プロバイダの情報について

ご契約のプロバイダによっては、ここに説明した内容と異なる場合もあります。プロバイダ側の設定資料を参考に、本製品のインターネット接続の設定をしてください。

A PPPoE 接続方式の場合

NTT フレッツサービスなど「PPPoE 接続」でインターネットに接続するプロバイダの場合は、ユーザー ID とパスワードが記載された資料がお手元に届いているはずです。記入欄にメモしてください。

項目	記入欄
接続方式	PPPoE
認証 ID (ユーザー名) 【接続 ID】	
認証パスワード 【接続パスワード】	

※ プロバイダによって認証 ID、認証パスワードの表記が異なる場合があります。ユーザー ID に「@」が入っている場合は、プロバイダから提供された「ユーザー名」の後ろに、「@」と「プロバイダ識別子」を入力する必要があります。また、PPPoE 接続でも、認証 ID、認証パスワードが記述されておらず、入力が必要な場合があります。



フレッツ光プレミアムなど、別途ルータ機能が用意されている場合

プロバイダから提供されている「CTU」などの機器に、ユーザー ID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

B DHCP 接続方式の場合

DHCP 接続を使用している場合は、自動的にインターネットへの接続を開始します。本製品のウィザードを使用すれば、インターネット回線種別を意識したり、設定作業をおこなうことなく自動的に接続します。

C プロバイダから固定 IP アドレスが提供されている固定 IP 方式の場合

インターネット側の IP アドレス（グローバル IP アドレス）が固定で割り当てられるサービスです。次の内容をお調べのうえ、記入欄にメモしてください。

項目		記入欄
WAN 側 IP アドレス※ 1		
WAN 側サブネットマスク		
WAN 側ゲートウェイ		
DNS サーバアドレス ※ 2	プライマリ DNS	
	セカンダリ DNS	

※ 1 グローバル IP アドレスです。

※ 2 指示がある場合にメモしてください。

Chapter 2

導入編

本製品の導入方法について

本製品をモデムなどとはつなぐ手順や、インターネットに接続する手順については、本製品に付属の「設定手順書」などに、わかりやすい説明があります。

「設定手順書」が見つからない場合は、ロジテックホームページからもダウンロードできます。

1 セットアップの流れ

ホテルで使用する場合

ホテルの有線LANとの接続

ホテルに設置されているの LAN 端子と、本製品の WAN ポート (青色) を、同梱またはホテルに設置されている LAN ケーブルで接続します。

電源の接続

付属の AC アダプタまたは別売の microUSB (microB-A) ケーブル + 別売の電源供給アダプタから電源を給電します。

パソコンまたは無線子機の接続

有線 LAN の場合は、パソコンと本製品の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。

無線 LAN の場合は、各機器に応じた設定を行います。

iPhone/iPad/iPod touch (iOS 4.0 以上でカメラ付きモデル) や Android 搭載スマートフォン / タブレットの設定には、専用アプリ「QR でかんたん接続」が使用できます。

これで設定は完了です。

※ 1 無線子機側の設定については、無線子機の説明書をお読みください。

ご自宅で使用する場合

有線 LAN で接続するパソコンと無線 LAN で接続する無線子機で使う

プロバイダ情報の準備

NTT フレッツサービスなど PPPoE 接続を利用しているプロバイダや固定 IP 接続をご使用になる場合は、プロバイダからのユーザー ID 等の情報が必要になります。あらかじめ送付された情報を準備しておきます。※1

本製品の接続

本製品をブロードバンドモデム、パソコンなどと接続します。

◆無線LANで接続する無線子機しか使用しない場合でも、インターネットの接続設定のために有線LANでパソコンを接続する必要があります※2。

インターネット接続ためのウィザードの実行

「インターネット接続ウィザード」を使ってインターネットへ接続できるように設定し、接続を確認します。必要な作業を「インターネット接続ウィザード」が自動的に実行します。

PPPoE 接続(NTT フレッツサービスなど)や固定 IP 接続の場合は、プロバイダからの情報の入力が必要です。※1

無線 LAN 用のドライバ等のインストール

ご使用になる無線アダプタのドライバや設定ユーティリティを、無線子機にインストールしておきます。※3
iPhone/iPad/iPod touch (iOS 4.0 以上でカメラ付きモデル)や Android 搭載スマートフォン/タブレットの設定には、専用アプリ「QR でかんたん接続」が使用できます。

無線 LAN 接続の設定

WPS 機能に対応する場合

WPS機能を使って設定します。設定ボタンを押すだけです。※3

WPS 機能に対応しない場合

無線アダプタ側に、SSIDやセキュリティなどを手動で設定します。※3

無線 LAN でのインターネット接続の確認

無線LANで接続する無線子機からホームページなどに接続できることを確認します。

これで設定は完了です。

※1 プロバイダから提供されている「CTU」などの機器に、ユーザー ID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

※2 無線 LAN だけでご使用になる場合も、本製品の設定ユーティリティに接続するために有線 LAN のパソコンをご用意ください。

※3 無線子機側の設定については、無線子機の説明書をお読みください。

有線 LAN で接続するパソコンだけで使う

プロバイダ情報の準備

NTTフレッツサービスなどPPPoE接続を利用しているプロバイダや固定IP接続をご使用になる場合は、プロバイダからのユーザーID等の情報が必要になります。あらかじめ送付された情報を準備しておきます。※1

本製品の接続

本製品をブロードバンドモデム、パソコンなどと接続します。

インターネット接続ためのウィザードの実行

「インターネット接続ウィザード」を使ってインターネットへ接続できるように設定し、接続を確認します。
必要な作業を「インターネット接続ウィザード」が自動的に実行します。
PPPoE 接続 (NTT フレッツサービスなど) や固定 IP 接続の場合は、プロバイダからの情報の入力が必要です。※1

これで設定は完了です。

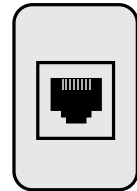
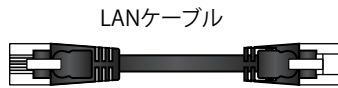
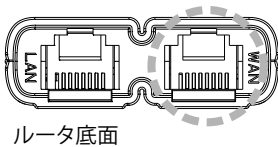
※ 1 プロバイダから提供されている「CTU」などの機器に、ユーザー ID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

2 セットアップを始める前に

本製品をブロードバンドモデムなどと接続します。

本製品を接続する

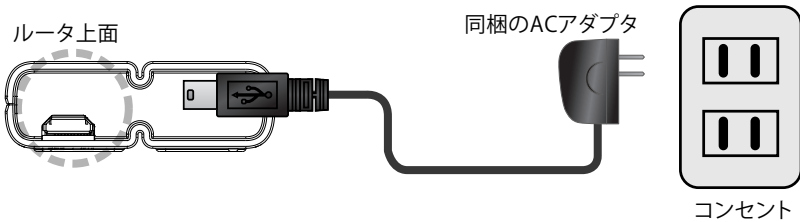
- 1 ホテルで使用する場合は、ホテルに設置されている LAN 端子と、本製品の WAN ポート（青色）を、同梱またはホテルに設置されている LAN ケーブルで接続します。



※ご自宅で使用する場合は、インターネットに接続されたご自宅のブロードバンドモデムと接続してください。

- 2 以下のいずれかの一つの方法で、本製品と電源ケーブルを接続します。

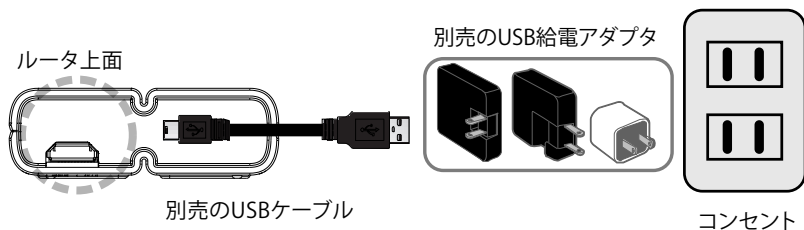
■同梱の AC アダプタで給電



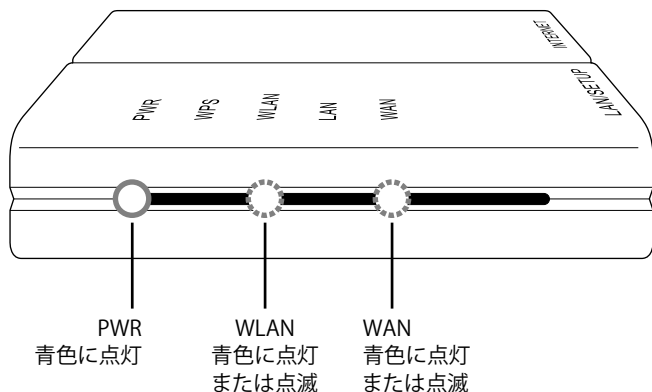
■パソコンの USB ポート + 別売の USB（microB-A）ケーブルで給電



■別売の USB 給電アダプタ+別売の USB（microB-A）ケーブルで給電

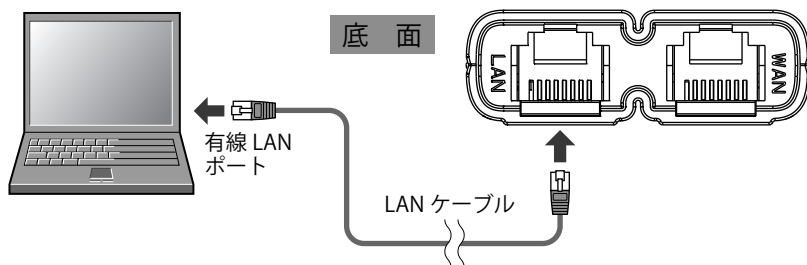


3 本製品のランプが以下の状態であることを確認します。



※電源を入れてから本状態になるまでに約30秒程掛かります。

4 ホテル用として詳細設定を行う場合、またはご自宅で初期設定 / 詳細設定を行う場合は、パソコンと、本製品の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。



※お客様のパソコンの設定によっては、パソコンの IP アドレスの設定（自動取得や固定）を変更する必要があります。

3 ウィザードを使ったセットアップ

ここではご自宅で本製品を使ってインターネットに接続するまでの手順を説明します。
ホテルで使用する場合、このセットアップは不要です。

インターネット接続ウィザードについて

本製品は、本製品にパソコンから Web ブラウザでアクセスすることで、Web ブラウザ版の設定ユーティリティにある「インターネット接続ウィザード」を使って、インターネットへの接続設定を自動でおこなうことができます。無線子機（無線アダプタ）との設定は、WPS 機能を使って自動接続ができます。

ここでは次ページより、「インターネット接続ウィザード」を使って、インターネットへ接続する方法を説明しています。無線子機からの無線接続については、P31「4 無線 LAN で接続する」で説明しています。

設定ユーティリティを表示する

本製品の設定ユーティリティは、パソコンから Web ブラウザを使って表示します。



パソコンは IP アドレスが自動取得になっている必要があります

このマニュアルでは、本製品の DHCP サーバ機能により、パソコンが IP アドレスを自動取得することを前提に説明しています。パソコンに固定の IP アドレスを設定している場合は、パソコンの IP アドレスを変更しなければならないことがあります。

本製品の IP アドレス（初期値）＝ 192.168.2.1

1 ブロードバンドモデムと本製品の電源が入っていることを確認してから、設定用のパソコンを起動します。

- 順序が逆の場合、パソコン側が IP アドレスを正常に取得できず、設定画面にアクセスできないことがあります。

2 Internet Explorer などの Web ブラウザを起動します。

3 Web ブラウザの [アドレス] 欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。



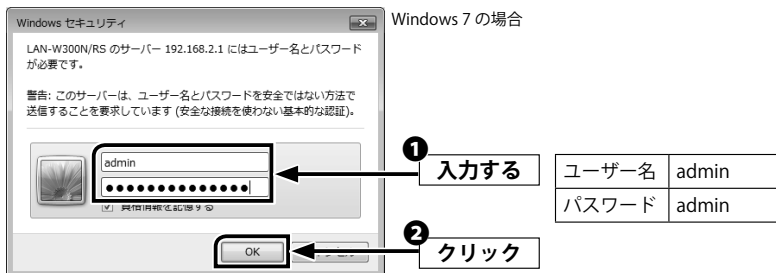
- 認証画面が表示されます。



認証画面が表示されない場合

以下の順序で確認してみてください。

- ① 本製品の電源が入っているか、LAN ケーブルの接続は正しいかを確認してください。
- ② いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて 3 分以上たってからパソコンの電源を入れてください。
- ③ 接続しているパソコンの IP アドレスを確認してください(→ P85「パソコンの IP アドレスを表示する」)

4 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。

- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- 次ページの「インターネット接続ウィザードでセットアップする」へ進みます。



不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします (→ P78「パスワード設定画面」)。

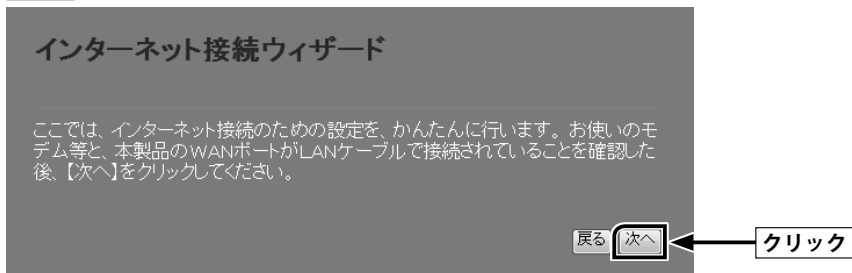
インターネット接続ウィザードでセットアップする

「インターネット接続ウィザード」を使って、セットアップする手順を説明します。

1 インターネット接続ウィザードのトップ画面で、**次へ**をクリックします。



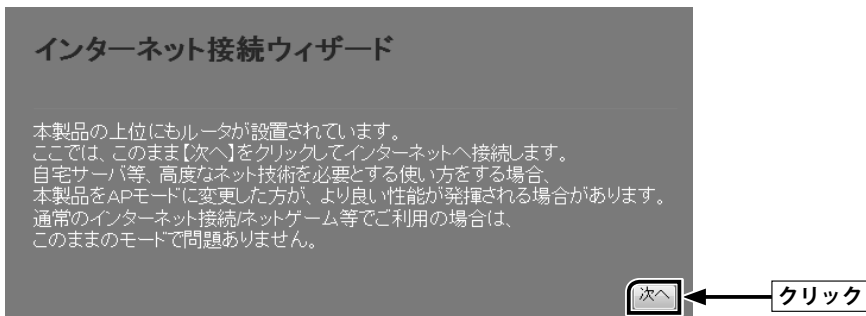
2 **次へ**をクリックします。



・インターネット回線種別を自動識別中です。」と表示されます。

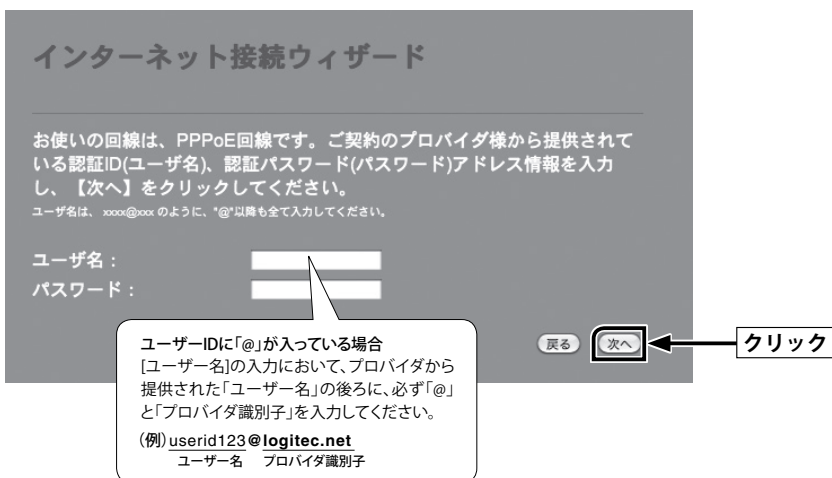
3 インターネット回線の種類にあわせて画面が表示されます。

■「本製品の上位にもルータが設置されています。」と表示された場合



- 通常は、そのまま【次へ】をクリックします

■ユーザー ID とパスワードを入力する画面が表示された場合



- プロバイダより提供された情報にある「ユーザー ID」と「パスワード」を入力します。
- 【次へ】をクリックします。

※ご利用の環境によって、設定画面の内容は多少異なる場合があります。

■固定 IP アドレスの情報を入力する画面が表示された場合

お使いの回線は、固定IP回線です。ご契約のプロバイダ様から提供されている、IPアドレス情報を入力し、『次へ』をクリックしてください。
もし違う回線である場合は、配線が間違っている可能性があります。『戻る』をクリックし、もう一度やり直してください。

プロバイダから指定されたIPアドレス:	172.1.1.1
サブネットマスク:	255.255.0.0
DNSアドレス:	
プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイアドレス:	172.1.1.254

[戻る](#)[次へ](#)

クリック

- ・プロバイダより提供された情報を入力します。
- ・[次へ](#)をクリックします。

4 インターネットに正常に接続できると、接続が確認できたことを知らせるメッセージが表示されます。

インターネット接続が確認できました
インターネット接続設定を終了します。
右上の×ボタンをクリックし、本画面を閉じてください。

5 これでインターネットへの接続作業は完了です。引き続き、パソコンと本製品を無線 LAN で接続する場合は、P31「4. 無線 LAN で接続する」へ進みます。

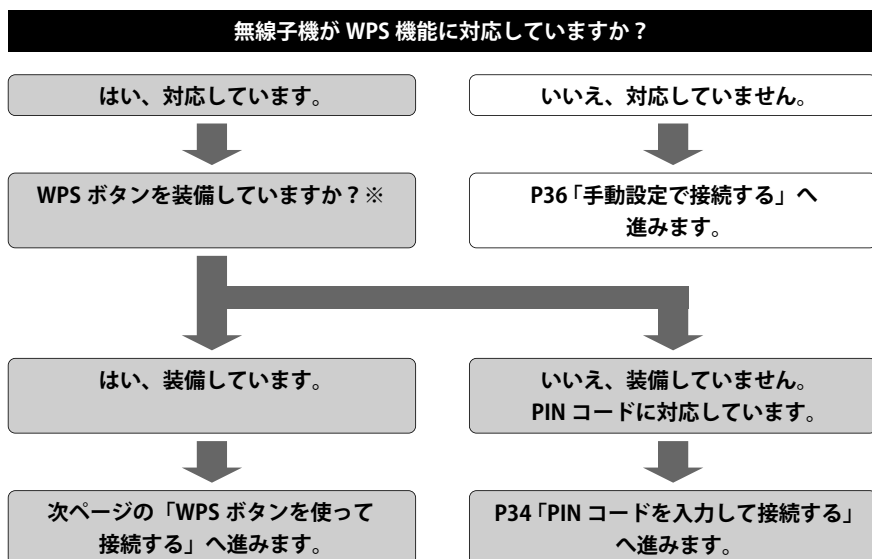
- ・本製品の設定のために有線 LAN で接続していたパソコンを、無線 LAN で接続するようにする場合は、LAN ケーブルを取り外し、パソコンの無線 LAN 機能が使用できるように準備しておいてください。

4 無線 LAN で接続する

パソコンの無線子機（無線アダプタなど）から本製品を経由してインターネットに接続できるようにします。

はじめにご確認ください

本製品は WPS 機能に対応しています。WPS 機能に対応する無線子機との組み合わせで簡単に無線 LAN 機能を設定できます。ボタンを押すだけで設定ができる「プッシュボタン方式」と、用意された数字を入力するだけで設定できる「PIN コード方式」の両方に対応しています。WPS 機能に対応していない無線子機から本製品に接続するときは、本製品の設定値を無線子機側に設定することで接続することができます。

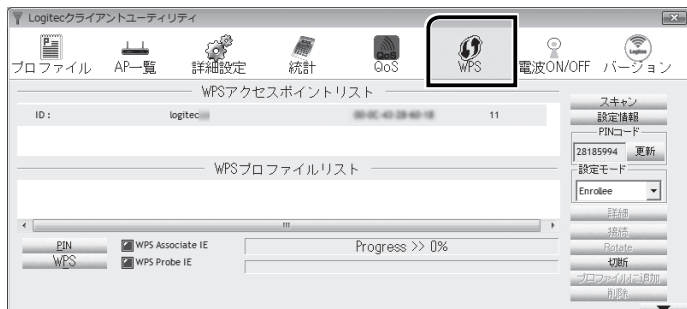


※ WPS ボタンについて

WPS の「プッシュボタン方式」は、無線子機本体に装備されている「WPS ボタン」を押して設定するタイプと、設定ユーティリティ上にある「WPS ボタン」アイコンをクリックして設定するタイプがあります。

WPS ボタンを使って接続する

- 1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。
- 2 無線子機の説明書をお読みになり、無線子機側が「WPS」設定をできるように準備します。

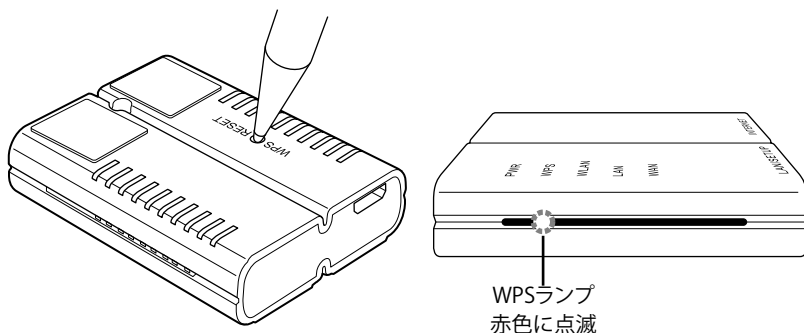


弊社製無線子機の画面例

- 3 本製品の側面にある「WPS/reset ボタン」を2秒以上押して、離します。



10 秒以上押すと、設定がリセットされてしまいますのでご注意ください。



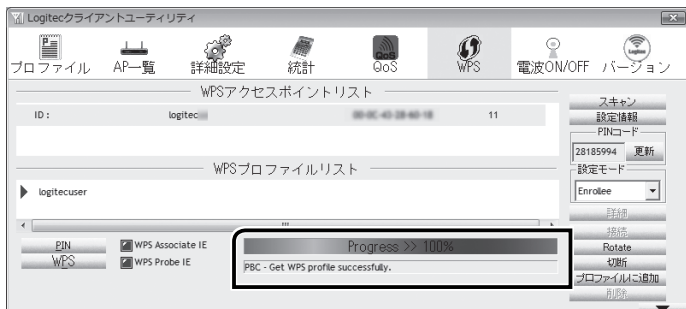
- WPS ランプが赤色に点滅し、WPS 対応の無線子機の接続を待つ状態になります。WPS ランプの点滅中に接続を完了する必要があります。



- 接続が完了するか、一定時間（約2分間）がすぎると WPS ランプは消灯します。
- 誤操作防止のため押しにくくなっています。ペン先など先端の細いものを利用して、押してください。

4 無線子機側の WPS 用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。

- ・弊社製の WPS 対応製品の場合は、本体の「設定ボタン」を 1 秒以上押して、離します。本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの [WPS] ボタンをクリックします。

5 無線子機側の設定ユーティリティで、本製品に接続できたことを確認します。

弊社製無線アダプタの画面例

- ・本製品の WPS ランプは消灯します。

6 Web ブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。

ロジテック Web サイト <http://www.logitech.co.jp/>

7 これで WPS 機能を使った無線子機の設定は完了です。無線子機が他にもある場合は、同じ手順で設定します。

PIN コードを入力して接続する

WPS 機能の PIN コード方式で設定します。無線ルータ側に設定された PIN コードを無線子機に入力する方法と、無線子機側に設定された PIN コードを無線ルータに入力する方法があります。ここでは無線ルータ側に設定された PIN コードを無線子機に入力する場合の操作の流れを説明します。



無線子機側の PIN コードを本製品に入力する場合

P57「WPS 機能の設定」をお読みになり、[クライアントの PIN コードで設定] に、無線子機側の PIN コードを入力し、実行してください。

1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。

2 本製品の設定ユーティリティを表示します。

- ・設定ユーティリティの表示方法については、P26「設定ユーティリティを表示する」を参照してください。

3 設定ユーティリティで画面左のメニューリストから [無線設定] → [WPS 設定] を選択して、〈WPS 設定〉画面を表示します。

4 「PIN コード」をメモします。

WPS設定

☐ WPSを無効にする

WPSステータス: ☒ 設定済み ☐ 未設定

PINコード:

ボタンで設定:

クライアントのPINコードで設定:

現在の設定:

認証方式	暗号方式	キー
WPA2 PSK	AES	

本製品の PIN コード

- 5** 無線子機の説明書をお読みになり、無線子機の PIN コードの〔設定モード〕を「Registrar」に設定してから、本製品の PIN コードを無線子機側に入力します（※）。



弊社製無線子機の画面例

※実際の無線子機によって項目名などが異なります。ご使用になる無線子機の説明書をお読みください。

- 6** 本製品の設定ユーティリティの〈WPS 設定〉画面で、〔ボタンで設定〕の「実行」をクリックします。



- 7** 無線子機側で PIN コードの受信を実行します。



弊社製無線子機の画面例

- 8** 設定後、無線 LAN 経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

手動設定で接続する

WPS 機能を持たない無線子機の場合は、無線子機側の設定ツールを使って、必要な設定を手動でおこないます。本製品の初期値の設定は以下の通りです。無線子機の説明書と、次ページからの作業の流れを参考にして、本製品の設定値を無線子機側に設定してください。

項目	本製品の設定値（初期値）	
SSID	logitec-xxxxxx ※ x は、0 ～ 9、A ～ H のランダムな英数字です。	
認証方式	WPA プレシェードキー	無線子機側は「WPA2-PSK」を選択します。
暗号化方式	AES	無線子機側は「AES」を指定します。
WPA ユニキャスト 暗号スイート	WPA2-PSK	
共有キー フォーマット	パスフレーズ	
暗号キー	本製品に付属の設定情報シールをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。 ※出荷時期によっては、実際の設定情報シールがイラストと異なる場合があります。 PASS 記入欄	

●設定情報シール

SSID :
logitec-xxxxxx
PASS :
XXXXXXXXXXXXXX

暗号キー
(X には、0 ～ 9、A ～ H のランダムな英数字 13 文字が入ります)



上記の本製品の初期値にあわせ、設定情報シール上の暗号キーを利用する場合は、本製品の設定ユーティリティを表示せずに、無線子機側の設定をおこなうだけで本製品に接続することができます。

- 1** 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。
- 2** 無線子機の設定ユーティリティを起動します。
- 3** 設定ユーティリティのリストの SSID に「logitec-xxxxxx」と表示された場合は選択します。
 - x は、0～9、A～H のランダムな英数字です。
 - SSID を自動的に検出できない場合は、手動で無線子機の設定ユーティリティにある「SSID」に、本製品の SSID の設定値（例:logitec-154a5e）を半角英数字（小文字）で入力します。
- 4** 本製品はセキュリティ機能として暗号化機能（WPA2-PSK/AES/パスフレーズ 13 文字）があらかじめ設定済みです。無線子機の設定ユーティリティにある「暗号化」に関する設定画面を表示します。
- 5** 無線子機の説明書をお読みになり、本製品の設定内容を無線子機側に設定します。
- 6** 設定後、無線 LAN 経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

iPhone/iPad/iPod touch を接続する

iOS 4.0 以降のカメラ付きモデルでは、「App Store」から専用アプリ「QR でかんたん接続」をダウンロードして、かんたんに接続することができます。詳しくは、付属の「設定手順書」をご覧ください。

電波干渉を避けるため、Bluetooth 機能をオフにすることを推奨します。

専用アプリで設定できなかった場合は、以下のように手動で Wi-Fi 設定してください。

1 メインメニューの「設定」をタップします。



※画面は iPhone 4 の例です。

2 設定メニューの「Wi-Fi」をタップします。



3 リストに表示された「logitec-xxxxxx」をタップします。

※「logitec2nd-xxxxxx」は選ばないでください。



注意

logitec-xxxxxx が複数見つかった場合

近隣に同じ SSID の無線親機があります。電波の強いほうを選んでください。

※通信が安定しない場合は、SSID の変更をお勧めします。

4 本製品のパスワードを入力し、Join をタップします。

※キー入力の都度、このキーをタップして大文字で入力してください。

- ・パスワード（暗号キー）は、「設定情報シール」に表示された 13 文字の半角英数字（すべて大文字）です。

設定情報シール



5 正しく接続できたか確認します。



✓ マークが表示されていることを確認します。



注 意

●無線接続に失敗した場合

手順 **4** で誤ったパスワードを入力した可能性があります。次の手順で接続をやり直してください。

- ① リストに表示された「logitec-xxxxxx」の右端にある「>」をタップします。
- ② 「このネットワーク設定を削除」をタップします。
- ③ 手順 **3** からやり直します。

●「ネットワーク“logitec-xxxxxx”に接続できません。」と表示された場合



- ・ iPhone/iPad/iPod touch の電源をいったん切り、再び入れてからやり直してください。
- ・ Bluetooth 機能がオンの場合、電波干渉により Wi-Fi 接続ができないことがあります。Bluetooth 機能をオフにしてからやり直してください。

6 ホームボタンでメインメニューに戻ります。

以上で、設定は完了です。

ホテルによっては、Web ブラウザ（IE など）による認証作業が必要な場合があります。その場合は、宿泊されているホテルへ認証方法をご確認ください。

Android スマートフォン / タブレットを接続する

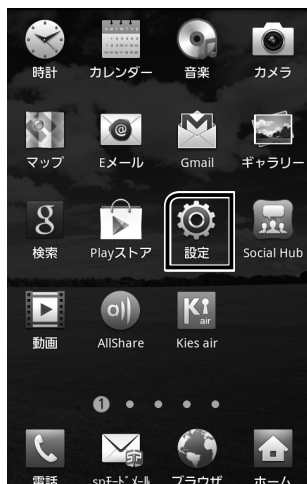
Android2.1 以降のカメラ付きモデルでは、「Play ストア」(旧称「Android マーケット」) から専用アプリ「QR でかんたん接続」をダウンロードして、かんたんに接続することができます。詳しくは、付属の「設定手順書」をご覧ください。

電波干渉を避けるため、Bluetooth 機能をオフにすることを推奨します。

専用アプリで設定できなかった場合は、以下のように手動で Wi-Fi 設定してください。

1 メニューボタンを押します。

2 [設定] をタップします。



3 [無線とネットワーク] をタップします。



4

[Wi-Fi 設定] をタップします。



5

[Wi-Fi] をタップします。



6 目的のネットワーク名をタップします。



7 セキュリティーキーを入力して、**接続** をタップします。



- ・パスワード（暗号キー）は、「設定情報シール」に表示された 13 文字の半角英数字（すべて大文字）です。

設定情報シール



8 選択したネットワークに接続できていることを確認します。

以上で、設定は完了です。

ホテルによっては、Web ブラウザ（IE など）による認証作業が必要な場合があります。その場合は、宿泊されているホテルへ認証方法をご確認ください。

Chapter 3

.....

詳細設定編

1 設定ユーティリティ画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンから Web ブラウザを使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定ユーティリティに接続する方法を説明します。

あらかじめ、P23「2 セットアップを始める前に」を参照し、本製品とパソコンを有線 LAN 接続しておいてください。

設定ユーティリティ画面を表示する

1 Internet Explorer などの Web ブラウザを起動します。

2 Web ブラウザの [アドレス] 欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。



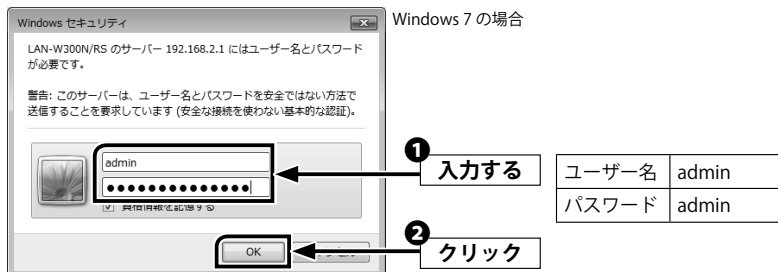
・認証画面が表示されます。



認証画面が表示されない場合

パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IP アドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約 3 分程度待ってから、パソコンの電源を入れてください。

3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。



- ・初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- ・本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- ・このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。



不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします（→ P78「パスワード設定画面」）。

設定ユーティリティ画面の内容



メニュー項目	内容
インターネット接続ウィザード	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。（→ P50）
無線設定	無線 LAN に関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定（→ P51）、上級者向け設定（→ P54）、セキュリティ設定（→ P58）、アクセスコントロール（→ P55）、WPS 設定（→ P57）があります。
有線設定	有線 LAN、WAN の設定をします。LAN 側設定（→ P66）、WAN 側設定（→ P69）があります。
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。（→ P74）
管理ツール	本製品を管理するためのメニューです。機器のステータス（→ P75）、ファームウェア更新（→ P77）、パスワード設定（→ P78）があります。

2 インターネット接続ウィザード

インターネットに接続するための必要な設定をおこなう画面です。インターネット接続ウィザードの使い方は、P28「インターネット接続ウィザードでセットアップする」をお読みください。

画面の
表示

画面左のメニューリストから「インターネット接続ウィザード」を選択します。



IP アドレス開放	WAN（インターネット）側の接続を切断し、WAN 側の IP アドレスを開放します。インターネットとは接続していない状態になります。
IP アドレス更新	WAN（インターネット）側の IP アドレスを正しく取得できなかった場合などに、現在の WAN 側の IP アドレスを開放し、再取得します。

3 無線設定

本製品の無線 LAN 機能を設定します。

基本設定



画面左のメニューリストから [無線設定] → [基本設定] を選択します。

基本設定

☐ 無線を無効にする

無線帯域: 2.4 GHz (B+G+N) ▼

マルチSSID

SSID: logiteo-xxxxxx

チャンネル幅: 40MHz ▼

チャンネル: Auto ▼

SSID ステルス機能: 無効 ▼

WMM: 有効 ▼

データレート: Auto ▼

関連クライアント: 通信中のクライアントPCを表示する

適用 キャンセル



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

無線を無効にする		無線 LAN の設定をすべて無効にする場合にチェックします。チェックすると、無線 LAN 機能を使用できなくなります。 (初期値：オフ＝無線 LAN が有効)
無線帯域	2.4 GHz (B + G + N)	初期値です。IEEE802.11n/11g/11b の 3 規格を使用します。
	2.4 GHz (B)	IEEE802.11b 規格だけを使用します。
	2.4 GHz (G)	IEEE802.11g 規格だけを使用します。
	2.4 GHz (N)	IEEE802.11n 規格だけを使用します。
	2.4 GHz (B + G)	IEEE802.11g/11b の 2 規格を使用します。
	2.4 GHz (G + N)	IEEE802.11g/11n の 2 規格を使用します。
マルチ SSID		本製品は、2 つの SSID を同時に使用することができます。SSID ごとにセキュリティレベルを変更することもできます。「logitec2nd-xxxxxx」が初期値として登録されています。設定方法は、P53「マルチ SSID を設定する」をお読みください。
SSID		無線 LAN で使用する SSID を入力します。初期値は「logitec-xxxxxx」が登録されています。
チャンネル幅		11n 規格でのチャンネル幅を設定します。11n 対応の無線クライアントと接続する場合、「40MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線 LAN との干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。
チャンネル		使用するチャンネルを選択します。Auto または 1 ～ 13ch の中から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は 5 チャンネル以上離してください。Auto を選択すると、自動でチャンネルが設定されます。 (例) 1ch/6ch/11ch
SSID ステルス機能		「無効」の場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定した SSID を確認することができます。「有効」にした場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどで、本製品の SSID を表示できなくなります。 不正アクセスを防ぐためや、SSID を第三者に見せたくない場合などに「無効」にします。(初期値：無効)
WMM		WMM (Wi-Fi Multimedia) により安定したストリーミング通信をするための帯域を優先的に確保するかを設定します。(初期値：有効)
データレート		11n/11g/11b 規格の通信における伝送速度を設定します。「Auto」に設定しておく、通信環境にあわせて自動的に最適な速度で通信します。(初期値：Auto)
関連クライアント		通信中のクライアント PC を表示するをクリックすると、無線クライアント (無線子機) のリストが別ウィンドウで表示されます。



●マルチ SSID の logitec-xxxxxx と logitec2nd-xxxxxx

WPS 機能を使ったパソコン用のセキュリティ設定を「WPA2-PSK」、ゲーム機用のセキュリティには「WEP」が利用できるように 2 つの SSID が用意されています。これにより、パソコンとゲーム機で異なるセキュリティ設定でも同時に接続できるようになっています。

logitec-xxxxxx ※ 1	パソコンやスマートフォン用の SSID です。セキュリティ設定の初期値は、WPA2-PSK/AES/暗号キー 13 文字になっています(→P36「手動設定で接続する」参照)。
logitec2nd-xxxxxx ※ 1、※ 2	ゲーム機と接続するための SSID です。セキュリティ設定が初期値で「WEP」になっています。

※ 1 : x は、0 ～ 9、A ～ H のランダムな英数字です。

※ 2 : この SSID に対して WPS 機能は使えません。

●〈通信中の無線クライアント一覧〉画面について

更新 をクリックするとリストを最新の状態に更新します。**閉じる** をクリックすると、〈通信中の無線クライアント一覧〉画面を閉じます。

マルチ SSID を設定する

- ① **マルチ SSID** をクリックします。
- ② 「有効」をチェックします。
- ③ SSID に 2 つめの SSID を入力します。初期値では「logitec2nd-xxxx」が登録されています。
- ④ 必要に応じて、高度な設定をします（上記の一覧表参照）。
- ⑤ **適用** をクリックします。このあとの操作は P51 「設定を変更した場合」をお読みください。



通信中のクライアント

表示 をクリックすると、ここで設定した SSID で接続している無線クライアント（無線子機）をリストで表示します。

上級者向け設定画面

無線 LAN の高度なオプション機能を設定できます。これらの設定には無線 LAN に関する十分な知識が必要です。



画面左のメニューリストから [無線設定] → [上級者向け設定] を選択します。

上級者向け設定

フラグメントしきい値: 2346 (256-2346)

RTSしきい値: 2347 (0-2347)

ビーコン間隔: 100 (20-1024 ms)

プリアンプルタイプ: ☐ ロングプリアンプル ☒ ショートプリアンプル

送信パワー: ☒ 100% ☐ 70% ☐ 50% ☐ 35% ☐ 15%



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** ををクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●**詳細設定** 各項目の数値に指定可能な範囲がある場合は、数値の右側にカッコで表示しています。

フラグメントしきい値	フラグメントしきい値を設定します。パケットが設定サイズを超えた場合に分割して送信します。(初期値: 2346)
RTS しきい値	本製品が RTS (送信要求) 信号を送信するパケットサイズを設定します。(初期値: 2347)
ビーコン間隔	本製品が送信するビーコンフレームの送信間隔を設定します。(初期値: 100)
プリアンプルタイプ	無線通信の同期をとるプリアンプル信号の種類 (長さ) を選択します。ショートプリアンプルのほうが伝送速度を速くすることができます。ただし、古いタイプの無線クライアントを使用する場合などは、互換性を確保するために「ロングプリアンプル」を選択します。(初期値: ロングプリアンプル)
送信パワー	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。(初期値: 100%)

アクセスコントロール画面

登録した MAC アドレスを持つ無線子機とだけ無線 LAN で通信できるようにしたり、通信を拒否したりできます。第三者の無線子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。



画面左のメニューリストから [無線設定] → [アクセスコントロール] を選択します。

無線アクセスコントロール機能: 無効 ▼

MACアドレス: メモ:

無線アクセスコントロールリスト:

MACアドレス	メモ	選択
		☐



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

無線アクセスコントロール機能	「無効」……アクセスコントロール機能を使用しません。 「許可」……[無線アクセスコントロールリスト] に登録した MAC アドレスを持つ無線子機だけが無線 LAN で接続できます。 「拒否」……[無線アクセスコントロールリスト] に登録した MAC アドレスを持つ無線子機との無線 LAN 接続を拒否します。
MAC アドレス	本製品への無線 LAN 接続を許可または拒否する無線子機の MAC アドレスを入力します。
メモ	自由にコメントを入力できます。登録した無線子機を区別するのに便利です。

●無線アクセスコントロールリスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。「選択」は、登録した無線子機の情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	「選択」をチェックした無線子機をリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックしたあと、 更新 をクリックします。
全て削除	リストの無線子機の設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックしたあと、 更新 をクリックします。
キャンセル	「選択」のチェックをすべてクリアします。

無線子機の登録方法

無線アクセスコントロール

無線アクセスコントロール機能:

MACアドレス: メモ:

無線アクセスコントロールリスト:

MACアドレス	メモ	選択
		☐

- ① [無線アクセスコントロール機能] で「許可」または「拒否」を選択します。
- ② 無線子機の MAC アドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 1234567890gh
- ③ 無線子機を区別するための名称など、コメントを自由に入力することができます。
- ④ をクリックします。このあとの操作はP55「設定を変更した場合」をお読みください。
- ⑤ 登録する無線子機が複数ある場合は、①～④を繰り返します。

WPS 機能の設定

WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。



画面左のメニューリストから [無線設定] → [WPS 設定] を選択します。

WPS設定

☐ WPSを無効にする

適用 キャンセル

WPSステータス: ☒ 設定済み ☐ 未設定

未設定に戻す

PINコード:

ボタンで設定: 実行

クライアントのPINコードで設定: 実行

現在の設定:

認証方式	暗号方式	キー
WPA2 PSK	AES	



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

● WPS 設定

WPS を無効にする	WPS 機能を無効にする場合にチェックします。(初期値：オフ)
WPS ステータス	現在の WPS 設定の状態を表示します。
未設定に戻す	WPS 設定を初期値に戻します。
PIN コード	本製品の PIN コードを表示します。
ボタンで設定	実行 をクリックすることで、WPS 機能を実行できます。本製品の本体に装備された「WPS 設定ボタン」を押すのと同じことです。
クライアントの PIN コードで設定	本製品側で無線子機の PIN コードにあわせる場合に、ここに無線子機側の PIN コードを入力し、 実行 をクリックします。
現在の設定	現在のセキュリティ設定の状態を表示します。

4 セキュリティを設定する(無線の暗号化)

無線 LAN で使用するデータの暗号化などのセキュリティの設定方法について説明します。

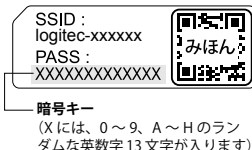
●本製品で設定可能なセキュリティ機能

WEP	無線 LAN の普及期からある暗号化方式です。本製品は 64bit と 128bit の 2 種類の暗号強度が選択できます。ご利用の無線 LAN 環境で WPA-PSK または WPA2-PSK が使用可能な場合は、そちらを使用することをお勧めします。
WPA-PSK WPA2-PSK	新しいセキュリティである「WPA」を使用します。本製品では、WPA-PSK (TKIP) と WPA2-PSK (AES) が使用できます。
WPA2-Mixed	WPA-PSK (TKIP) と WPA2-PSK (AES) の混在環境に対応します。

●本製品のセキュリティ設定の初期値

項目	本製品の設定値 (初期値)	
SSID	logitec-xxxxxx ※ x は、0 ～ 9、A ～ H のランダムな英数字です。	
認証方式	WPA プレシェードキー	無線子機側は「WPA2-PSK」を選択します。
暗号化方式	AES	無線子機側は「AES」を指定します。
WPA ユニキャスト 暗号スイート	WPA2-PSK	
共有キー フォーマット	パスフレーズ	
暗号キー	本製品に付属の設定情報シールをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。 ※出荷時期によっては、実際の設定情報シールがイラストと異なる場合があります。 PASS 記入欄	

●設定情報シール



WEP の設定

無線通信の暗号化セキュリティに「WEP」を使用します。



画面左のメニューリストから [無線設定] → [セキュリティ設定] を選択します。

◆ WEP 選択時の設定画面

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

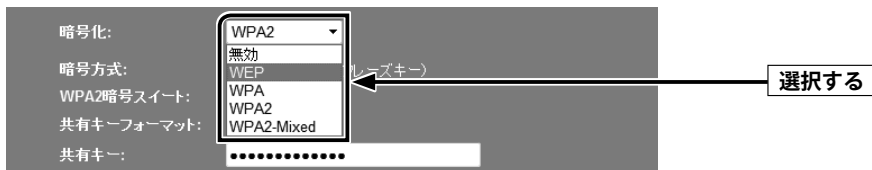
設定の手順



注意

本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線 LAN を利用できません。

1 [SSID 選択] で、セキュリティ設定をする「SSID」を選択します。

2 [暗号化] で、[WEP] を選択します。**3** 認証方式を選択します。

- わからない場合は「Auto」を選択します。

4 [キー長] でセキュリティ強度を選択します。通常は 128bit を選択します。

ご使用になる無線子機が 64bit にしか対応していない場合などは、64bit を選択します。ご使用になる無線子機に 1 台でも 64bit にしか対応していないものがある場合は、64bit しか使用できません。なお、64bit はセキュリティ性が低くお勧めできませんので、なるべく使用しないでください。

5 [キーフォーマット] で暗号化キーの入力形式を選択します。

- ここで選択した形式の文字列で暗号化キーを設定します。

ASCII (5 文字)	キー長で 64bit を選択した場合です。[暗号化キー] に、半角英数字 5 文字を入力します。
ASCII (13 文字)	キー長で 128bit を選択した場合です。[暗号化キー] に、半角英数字 13 文字を入力します。
Hex (10 文字)	キー長で 64bit を選択した場合です。[暗号化キー] に、16 進数 10 文字を入力します。
Hex (26 文字)	キー長で 128bit を選択した場合です。[暗号化キー] に、16 進数 26 文字を入力します。

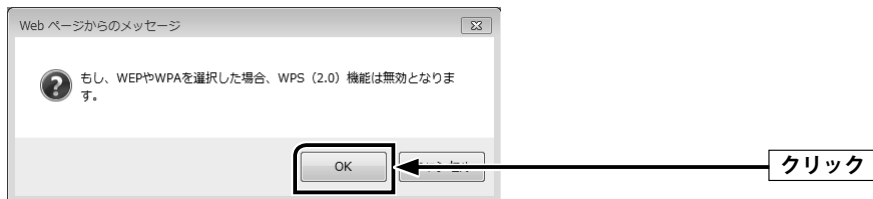
※ 16 進数とは、0～9、a-f を組み合わせた文字列です。

6 手順 **5** で選んだ入力形式で、暗号化キーを入力します。

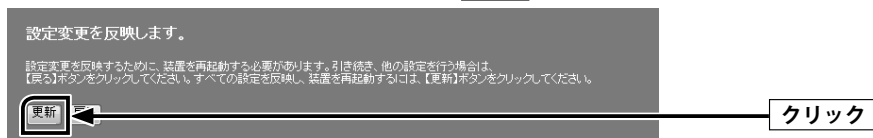
- ASCII の場合は大文字と小文字が区別されます。Hex の場合は大文字と小文字は区別されません。

7 すべての設定が終われば **適用** をクリックします。

- 8** 確認メッセージが表示された場合は、内容を確認のうえ、**OK** をクリックします。



- 9** 「設定変更を反映します。」と表示されます。**更新** をクリックします。



- 10** 待ち時間が表示され、0 秒になると自動的に <セキュリティ設定> 画面に戻ります。

- 11** これで本製品の WEP によるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。

- 無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

WPA-PSK/WPA2-PSK の設定

WPA-PSK (TKIP) または WPA2-PSK (AES) を使ってセキュリティ設定をします。WPA2-PSK/WPA-PSK は、小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。

設定にあたっては、あらかじめ「共有キー」を決めておいてください。



本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線 LAN を利用できません。



画面左のメニューリストから「無線設定」→「セキュリティ設定」を選択します。

◆ WPA-PSK 選択時の設定画面

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

1 [暗号化] で、[WPA]、[WPA2] または [WPA2-Mixed] を選択します。



WPA	WPA-PSKを使用します。[WPA 暗号スイート]は、自動的に「TKIP」になります。「AES」は選択できません。
WPA2	WPA2-PSKを使用します。[WPA2 暗号スイート]は、自動的に「AES」になります。「TKIP」は選択できません。
WPA2-Mixed	無線クライアントに WPA-PSK (「AES」または「TKIP」) と WPA2-PSK (「AES」または「TKIP」) が混在している場合でも、いずれの無線子機とも接続できます。また、無線子機がすべて「WPA2-PSK (TKIP)」の場合も、こちらを選択します。

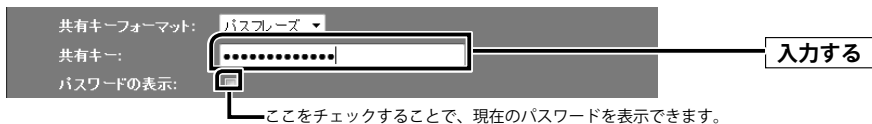
2 [共有キーフォーマット] で、共有キーの入力形式を選択します。

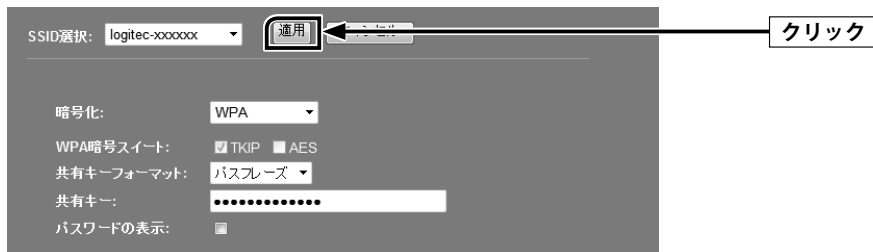
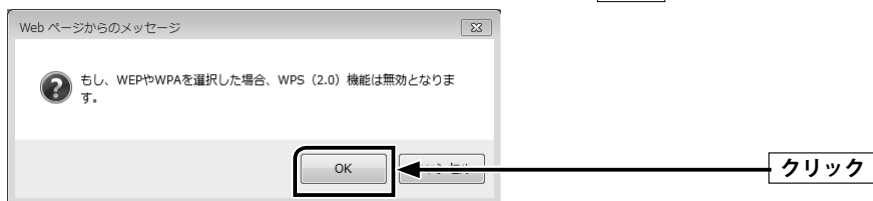
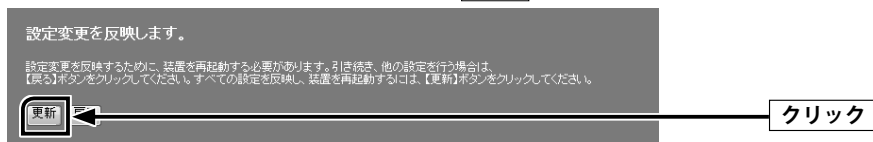


パスフレーズ	半角英数字 (8 ～ 63 文字) を使用できます。大文字と小文字が区別されます。
Hex	16 進数 64 文字 (固定) を使用できます。大文字と小文字は区別されません

※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a-f を組み合わせた文字列です。

3 [共有キー] に、手順 2 で選択した入力形式で文字列を入力します。



4 すべての設定が終われば **適用** をクリックします。**5** 確認メッセージが表示された場合は、内容を確認のうえ、**OK** をクリックします。**6** 「設定変更を反映します。」と表示されます。**更新** をクリックします。**7** 待ち時間が表示され、0 秒になると自動的に <セキュリティ設定> 画面に戻ります。**8** これで本製品の WPA によるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。

- 無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

5 有線設定

有線の LAN ポートおよび WAN ポートに関する設定をします。

LAN 側設定画面

本製品の LAN（ローカルネットワーク）側の IP アドレス情報等を設定します。



画面左のメニューリストから [有線設定] → [LAN 側設定] を選択します。

LAN側設定	
装置のIPアドレス:	192.168.2.1
サブネットマスク:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ:	0.0.0.0
DHCPクライアントレンジ:	192.168.2.100 - 192.168.2.200
	クライアントの表示
固定DHCP:	固定DHCP設定
適用 キャンセル	



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

装置の IP アドレス	本製品の LAN 側の IP アドレスです。初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。初期値は「255.255.255.0」です。
デフォルトゲートウェイ	インターネットなど LAN から外部へ接続する場合にデフォルトゲートウェイを設定します。インターネットに接続する場合、ルータの LAN 側 IP アドレスを入力します。
DHCP クライアントレンジ	DHCP サーバ機能を利用する場合、DHCP サーバがクライアントに自動的に割り付ける IP アドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントに IP アドレスが自動的に割り当てられます。 クライアントの表示 をクリックすると、接続中の DHCP クライアントのリストが別ウィンドウで表示されます。
固定 DHCP	固定 DHCP 設定 をクリックすることで、クライアントの MAC アドレスと指定したい IP アドレスを関連付けて登録することができます。設定方法については P67「固定 DHCP 設定画面」をお読みください。

固定 DHCP 設定画面

DHCP サーバ機能を有効にしている場合、クライアントには自動的に IP アドレスが割り当てられます。しかし、クライアントのネットワーク機器によっては、特定の IP アドレスを割り当てたい場合があります。クライアントの MAC アドレスと指定したい IP アドレスを関連付けて登録することができます。



画面左のメニューリストから [有線設定] → [LAN 側設定] を選択し、[固定 DHCP 設定] をクリックします。

固定DHCP設定

☐ 固定DHCPを有効にする

IPアドレス:

MACアドレス:

メモ:

固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	メモ	選択
選択したものを削除 全て削除 キャンセル			



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

固定 DHCP を有効にする	この項目をチェックしている場合に、固定 DHCP リストの内容が有効になります。チェックしていない場合は、リストに登録されていても IP アドレスは固定されません。
IP アドレス	クライアントに割り当てる IP アドレスを入力します。
MAC アドレス	IP アドレスを固定するクライアントの MAC アドレスを入力します。
メモ	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●固定 DHCP リスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。「選択」は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

追加	リストに新たに IP アドレスを固定するクライアントを追加します。
選択したものを削除	「選択」をチェックしたクライアントをリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックします。
全て削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックします。
キャンセル	「選択」のチェックをすべてクリアします。

固定 DHCP の設定方法

- ① 「固定 DHCP を有効にする」をチェックします。
- ② クライアントに割り当てたい IP アドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
- ③ クライアントの MAC アドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 123456789012
- ④ 必要に応じて「メモ」に、コメントを入力します。
- ⑤ **追加** をクリックすると「設定変更を反映します。」と表示されます。
- ⑥ 登録するクライアントを追加する場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従って操作します。

WAN 側設定画面

本製品の WAN（インターネット）側の設定をします。[WAN 側回線種別] で、DHCP・PPPoE・固定 IP・マルチ PPPoE のいずれを選択するかで、設定画面が異なります。



画面左のメニューリストから [有線設定] → [WAN 側設定] を選択します。

● 「DHCP」を選択した場合 ※画面イメージは上記参照

ホスト名	必要に応じて自由にホスト名を入力できます。
MTU 値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) の値 (1400 ~ 1492) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)
DNS サーバの設定	● DNS サーバのアドレスを自動的に取得する プロバイダより自動的に DNS サーバのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。 ● 次の DNS サーバを使用する プロバイダから DNS アドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNS が 1 個の場合は「DNS1」に、2 ~ 3 個の場合は「DNS1」「DNS2」「DNS3」にそれぞれアドレスを入力します。
MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使します。
UPnP の有効	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効 / 無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値: 有効)



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●「PPPoE」を選択した場合

WAN側設定

WAN側回線種別: PPPoE

ユーザ名: logitecuser@logitec.net

パスワード: ●●●●●●●●

サービス名:

MTU値: 1454 (1360-1492 bytes)

☐ DNSサーバのアドレスを自動的に取得する

☒ 次のDNSサーバを使用する

DNS 1:

DNS 2:

DNS 3:

MACアドレスコピー:

☒ UPnPの有効

適用 キャンセル

ユーザー名	プロバイダより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザー ID に「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 (例) <u>userID123</u> <u>@logitec.ent</u> ユーザー名 プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
サービス名	必要に応じて自由にプロバイダ名などの名称を入力できます。
MTU 値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) の値 (1360 ～ 1492) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)
DNS サーバ設定	● DNS サーバのアドレスを自動的に取得する プロバイダより自動的に DNS サーバのアドレスを取得する場合に使用します。 プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。 ● 次の DNS サーバを使用する プロバイダから DNS アドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。 DNS が 1 個の場合は「DNS1」に、2 ～ 3 個の場合は「DNS1」「DNS2」「DNS3」にそれぞれアドレスを入力します。

MAC アドレス	コピーインターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使します。
UPnP の有効	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効 / 無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：有効)



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●「固定 IP」を選択した場合

WAN側設定

WAN側回線種別: 固定IP

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

MTU値: (1400-1500 bytes)

DNS 1:

DNS 2:

DNS 3:

MACアドレスコピー:

☒ UPnPの有効

適用 キャンセル

IP アドレス	プロバイダから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU 値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) の値 (1400 ~ 1500) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)
DNS1	プロバイダから DNS アドレスの指示が 1 個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS2	プロバイダから DNS アドレスの指示が 2 個ある場合は、こちらにセカンダリ DNS のアドレスを入力します。

DNS3	プロバイダから DNS アドレスの指示が 3 個ある場合は、こちらにターシャリ DNS のアドレスを入力します。
MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使します。
UPnP の有効	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効 / 無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：有効)



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** ををクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●マルチ PPPoE を選択した場合

WAN側設定

WAN側回線種別: マルチPPPoE ▼

ユーザー名:

パスワード:

サービス名:

MTU値: (1360-1492 bytes)

☒ DNSサーバのアドレスを自動的に取得する
☐ 次のDNSサーバを使用する

DNS 1:

DNS 2:

DNS 3:

MACアドレスコピー: ☐

☒ UPnPの有効

PPPoE 2 : NTTフレッツサービス用

ユーザー名:

パスワード:

サービス名:

MTU値: (1360-1492 bytes)

ユーザー名	プロバイダより提供されたユーザー名を入力します。ユーザー ID に「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 (例) <u>userID123</u> @ logitec.ent ユーザー名 プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
サービス名	必要に応じて自由にプロバイダ名などの名称を入力できます。
MTU 値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) の値 (1360 ~ 1492) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)
DNS サーバ設定	● DNS サーバのアドレスを自動的に取得する プロバイダより自動的に DNS サーバのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。 ● 次の DNS サーバを使用する プロバイダから DNS アドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNS が 1 個の場合は「DNS1」に、2 ~ 3 個の場合は「DNS1」「DNS2」「DNS3」にそれぞれアドレスを入力します。
MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使します。
UPnP の有効	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効 / 無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値: 有効)
PPPoE2: NTT フレッツサービス用 下記の注記参照	
ユーザー名	プロバイダより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザー ID に「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 (例) <u>userID123</u> @ logitec.ent ユーザー名 プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
サービス名	必要に応じて自由にプロバイダ名などの名称を入力できます。
MTU 値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) の値 (1360 ~ 1492) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)

※フレッツ光ネクストの NGN IPv4 サービスには対応していません。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

6 ファイアウォール設定

IPv6 ブリッジ画面

プロバイダから提供される IPv6 サービスを利用できるようにする「IPv6 ブリッジ」機能を有効にするか、無効にするかを選択します。



画面左のメニューリストから [ファイアウォール設定] → [IPv6 ブリッジ] を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** ををクリックし、画面のメッセージに従ってください。

● IPv6 ブリッジ

IPv6 ブリッジ	プロバイダから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 ブリッジ」機能の有効 / 無効を設定します。IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値：有効)。
-----------	---

7 管理ツール

機器のステータス画面

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから [管理ツール] → [機器のステータス] を選択します。

機器のステータス	
システム	
Uptime	0day:1h:50m:21s
ファームウェア Ver.	v1.0.5
Build Time	Mon Mar 26 09:17:54 CST 2012
SSID1設定状況	
モード	AP
帯域	2.4 GHz (B+G+N)
SSID	logitec-xxxxxx
チャンネル	10
暗号化	WEP 128bits
BSSID	58:b0:d4:05:80:f0
関連クライアント数	0
SSID2設定状況	
帯域	2.4 GHz (B+G+N)
SSID	logitec2nd-xxxxxx
暗号化	WEP 128bits
BSSID	00:e0:4c:81:96:c2
関連クライアント数	0
LAN側設定	
IPアドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCP	Server
MACアドレス	58:b0:d4:05:80:f0
WAN側設定	
IPアドレス取得方法	DHCP
IPアドレス	192.168.24.61
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.24.1
MACアドレス	58:b0:d4:05:80:f1

●システム

Uptime	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
ファームウェア Ver.	ファームウェアのバージョンを表示します。
Build Time	ファームウェアの作成日を表示します。

●無線設定状況

モード	現在の無線における通信モードを表示します。本製品で使用可能なモードは、AP モードのみです。
帯域	無線 LAN で使用している周波数帯域と、使用中の無線規格を表示します。
SSID	現在使用中の SSID を表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSID を表示します。
関連クライアント数	この SSID に接続している無線子機の数です。

●SSID2 設定状況

帯域	無線 LAN で使用している周波数帯域と、使用中の無線規格を表示します。
SSID	現在使用中のマルチ SSID の SSID を表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSID を表示します。
関連クライアント数	この SSID に接続している無線子機の数です。

●LAN 側設定

IP アドレス	現在の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
DHCP	DHCP 機能の状態を表示します。「Server」と表示されている場合、DHCP サーバ機能が有効になっています。
MAC アドレス	本製品の LAN 側の MAC アドレスを表示します。

●WAN 側設定

IP アドレス取得方法	WAN 側の IP アドレス取得方法を表示します。
IP アドレス	現在の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在のデフォルトゲートウェイを表示します。
MAC アドレス	本製品の WAN 側の MAC アドレスを表示します。

ファームウェア更新画面

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアは、弊社 Web サイトのサポートページよりダウンロードできます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから [管理ツール] → [ファームウェア更新] を選択します。



ファームウェアの更新手順



- ❶ 弊社 Web サイトなどからあらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、デスクトップなどに保存しておきます。
・ダウンロード前に注意事項などがいないか、ダウンロードページでご確認ください。
- ❷ **参照** をクリックします。
- ❸ 〈アップロードするファイルの選択〉画面が表示されますので、ダウンロードしたファイルを指定します。
- ❹ **実行** をクリックします。更新が始まったら、完了まで絶対に電源を切らないでください。

以上で、ファームウェアの更新は終了です。

本製品から電源ケーブルを抜き差しした上で、お使いください。

パスワード設定画面

本製品の設定ユーティリティにログインするための、ユーザー名とパスワードを設定 / 変更します。



画面左のメニューリストから [管理ツール] → [パスワード設定] を選択します。



注意

●パスワードの変更をお勧めします

設定ユーティリティへのパスワードが初期値のままだと、各種設定情報を自由に閲覧したり、パスワードを変更したりすることができません。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のユーザー名とパスワードを忘れないでください

変更後のユーザー名とパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

設定の手順

- ① [ユーザー名] に、新しく設定するユーザー名を入力します。
 - ② [新パスワード] に、新しく設定するパスワードを入力します。
 - ③ [新パスワード再入力] に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
 - ④ **適用** をクリックします
 - ⑤ 「設定変更を反映します。」と表示され、待ち時間が表示されます。
0 秒になると、自動的に認証画面が表示されます。
 - ⑥ 新しく設定したユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
- ・インターネット接続ウィザードのトップ画面が表示されます。

Appendix

付録編

1 サービス情報サイト使用時の設定

本製品で NTT 東日本、NTT 西日本のサービス情報サイトを利用する場合の設定手順を説明します。このマニュアルの P72「●マルチ PPPoE を選択した場合」や、NTT 東日本または NTT 西日本のホームページにある説明もご参照ください。

※「フレッツ・スクウェア」は、平成 23 年 6 月 1 日より「サービス情報サイト」に名称を変更しました。

ここでは、「WAN 側回線種別」の下の入力欄に、通常のインターネット接続で使用するアカウントを、「PPPoE2：NTT フレッツサービス用」の入力欄に、サービス情報サイトで使用するアカウントを登録する例を説明します。



本製品はフレッツ光ネクストの NGN IPv4 サービスはサポートしておりません。接続には B フレッツ等の設定方法を使用する必要がありますので、ご注意ください。

- 1 設定ユーティリティで、画面左のメニューリストから [有線設定] → [WAN 側設定] を選択します (→ P72「●マルチ PPPoE を選択した場合」)。

- 2 「WAN 側回線種別」で [マルチ PPPoE] を選択します。画面が 2 つのアカウントを登録可能な画面に切り替わります。

WAN側回線種別: DHCP
 ホスト名:
 MTU値: 1400-1492 bytes
☐ DNSサーバのアドレスを自動的に取得する

選択する

- 3 「WAN 側回線種別」の下の入力欄に、通常のインターネット接続で使用するアカウント (ユーザー名とパスワード) を登録します。

WAN側回線種別: マルチPPPoE
 ユーザー名: logitecuser@logitec.net
 パスワード:
 サービス名:

入力する

- 4** 引き続き「PPPoE2：NTT フレッツサービス用」の入力欄に、サービス情報サイトで使用するアカウントを登録します。

PPPoE 2：NTTフレッツサービス用

ユーザー名：

パスワード：

サービス名：

入力する

NTT 東日本	ユーザー名：guest@flets パスワード：guest
NTT 西日本	ユーザー名：guest パスワード：flets

- 5** すべての設定が終われば、**適用** をクリックします。

MTU値： (1360-1492 bytes)

適用

クリック

- 6** 「設定変更を反映します。」と表示されます。

設定変更を反映します。

設定変更を反映するために、装置を再起動する必要があります。引き続き、他の設定を行う場合は、【戻る】ボタンをクリックしてください。すべての設定を反映し、装置を再起動するには、【更新】ボタンをクリックしてください。

更新 **戻る**

- 他の設定を続ける場合→ **戻る** をクリックします。引き続き他の項目を設定します。
- 変更した設定を保存して有効にする場合→ **更新** をクリックし、手順 **7** へ進みます。

- 7** 待ち時間が表示され、0 秒になると自動的に〈WAN 側設定〉画面に戻ります。

設定変更を反映します。

再起動が完了するまで、絶対に電源を切らないでください。

あと 27 秒お待ちください...

- 8** ブラウザをいったん閉じます。サービス情報サイトにアクセスするには、Web ブラウザのアドレス入力欄に、「http://www.flets/」と入力し、ホームページに接続します。

2 こんなときは



本製品に付属の紙版マニュアル「はじめにお読みください」のP4「こんなときには」もご参照ください。

無線 LAN 関係のトラブル

●無線 LAN がつながらない。

①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？ プロトコル（TCP/IP など）、クライアント（Microsoft Network クライアントなど）、サービス（Microsoft Network 共有サービスなど）を環境に応じて設定する必要があります。

②ルータなどの DHCP サーバ機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動で IP アドレスを割り当てる必要があります。

◆CATV インターネットなどでは、回線事業者から IP アドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

③本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントの MAC アドレスフィルタリング設定は正しいですか？ セキュリティ設定は、無線 LAN ネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MAC アドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線 LAN に接続できない場合があります。

●セキュリティ機能を設定後に無線 LAN がつながらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線 LAN ネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

● WPS がつながらない。

① WPS ランプが速く点滅している場合は、エラーが発生している可能性があります。もう一度初めからやりなおしてください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

②入力した PIN コードが誤っていることがあります。再度 PIN コードを自動生成して接続してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

共通のトラブル

●インターネットに接続できない。

- ① TCP/IP プロトコルが正しく設定されているかを確認してください。
〈ネットワーク〉画面で TCP/IP プロトコルが設定されているかを調べてください。見あたらない場合は、TCP/IP プロトコルを追加してください。
- ② DHCP サーバ機能を使用していない場合は、IP アドレスを手動で割りあててください。
TCP/IP のプロパティにある <IP アドレス> タブで設定します。
- ③ TCP/IP プロトコルの設定が正しいかを確認してください。
プロバイダによって、IP アドレスを自動取得する場合と固定 IP アドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。
- ④ プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。
IP アドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

- ① 正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS 側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

- ① ネットワーク設定をしましたか？
無線 LAN が正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。

3 パソコンの IP アドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンの IP アドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。ここで説明している IP アドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線子機の IP アドレスを確認するときにも使用できます。

パソコンの IP アドレスを表示する

Windows 7/Vista の場合 ※画面は Windows Vista の例です。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] の順にクリックします。
- ② <コマンドプロンプト> 画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter] キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「xxx」は、内部コマンド・・・と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネットアダプタローカルエリア接続※」の「IPv4 アドレス」に現在の IP アドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxx は任意の数字）。

```
イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:

接続固有の DNS サフィックス . . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス. . . . : fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態（初期値）で使用している場合に、パソコンで表示される IP アドレスの内容については、P86「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

Windows XP の場合

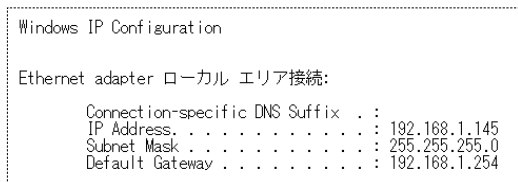
- ① [スタート] → [(すべての) プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] の順にクリックします。
- ② <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」あとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter] キーを押します。



※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。

「xxx」は、内部コマンド・・・と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネットアダプタローカルエリア接続※」の「IP Address」に現在の IP アドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます (xxx は任意の数字)。



※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態（初期値）で使用している場合に、パソコンで表示される IP アドレスの内容については、P86「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

工場出荷時での表示結果

本製品から正常に IP アドレスが割り当てられていると、各パソコンの IP アドレスは「192.168.2.xxx」と表示されます。「xxx」は任意の数字（初期値:100～200 のいずれか）です。またサブネットマスクが「255.255.255.0」、デフォルトゲートウェイが「192.168.2.1」と表記されていれば、本製品と正常に接続されています。

4 主な仕様と工場出荷時の設定

●主な仕様

データ転送速度（有線）	10/100Mbps（自動判別）
ポート数（有線）	LAN ポート：1 ポート WAN ポート：1 ポート（WAN 側と接続） ※いずれも Auto MDI/MDI-X に対応
消費電力（定格）	2W
動作温度 / 動作湿度	0 ～ 40℃ / 90%以下（結露無きこと）
外形寸法	約 幅 56x 奥行き 42x 高さ 13.5mm（突起物除く）
質量	約 23g（AC アダプタ含まず）

※本製品は AP モード、ポート転送、DMZ、DDNS の機能は搭載しておりません。また、フレッツ光ネクストの NGN IPv4 サービス（サービス情報サイトやウイルススクリア等）には対応しておりません。

●設定ユーティリティの工場出荷時の設定値

ログオン時の ユーザー名とパスワード	ユーザー名：admin パスワード：admin
-----------------------	----------------------------

●有線 LAN 関係の工場出荷時の設定値（初期値）

LAN 側 IP アドレス	192.168.2.1（ルータモード）
DHCP サーバ機能	有効（割当 IP アドレス範囲： 192.168.2.100 ～ 192.168.2.200） デフォルトゲートウェイ：無線ルータの LAN 側 IP アドレス DNS サーバの通知：無線ルータの LAN 側 IP アドレス

●無線 LAN 関係の工場出荷時の設定値（初期値）

	基本接続用	ゲーム機接続用
SSID	logitec-xxxxxx ※ 1	logitec2hd-xxxxxx ※ 1
暗号化	WPA プレシェード※ 2	WEP
暗号キー	付属の「設定情報シール」に記載	付属の「設定情報シール」に記載
暗号キーフォーマット	パスフレーズ	パスフレーズ

※ PS Vita や 3DS はセキュリティ上、「ゲーム機接続用」ではなく、「基本接続用」の SSID に接続されることを強くおすすめします。

※ 1 X は、0 ～ 9、a ～ f のランダムな英数字です。両 SSID とも X の英数字は共通です。

※ 2 無線アダプタ側の設定では、**WPA2-AES** を選択してください。

5 索引

数字

11b	2
11g	2
11n	2

A

AC アダプタ	23
Android	42
App Store	38
ASCII (5 文字)	61
ASCII (13 文字)	61

B

Build Time	75
------------------	----

D

DHCP クライアントレンジ	66
DHCP 接続方式	17
DNS1	71
DNS2	71
DNS3	72
DNS サーバ設定	70, 73
DNS サーバの設定	69

H

Hex	64
Hex (10 文字)	61
Hex (26 文字)	61

I

IEEE802.11n/11g/11b	15
iPad	38

iPhone	38
iPod touch	38
IPv6 ブリッジ画面	74
IPv6 ブリッジ機能	11
IP アドレス	26, 85
IP アドレス	66

L

LAN/SETUP ポート	13
LAN アダプタ	15
LAN 側設定	76
LAN 側設定画面	66
LAN ケーブル	23, 24
LAN ポート	24
LAN ランプ	13

M

MAC アドレス	55, 71
MAC アドレスコピー	69, 72, 73
MTU 値	69, 70, 71, 73

P

PIN コード	34
Play ストア	42
PPPoE	70
PPPoE 接続方式	16
PWR ランプ	13

Q

QR でかんたん接続	38
------------------	----

R

RTS しきい値	54
----------------	----

S

SSID	36, 52, 58
SSID2 設定状況	76
SSID ステルス機能	52

U

UPnP	11
UPnP の有効	69, 71, 72, 73
Uptime	75
USB (microB-A) ケーブル	23
USB 給電アダプタ	24

W

WAN 側設定	76
WAN 側設定画面	69
WAN ポート	13, 23
WAN ランプ	13
WEP	58, 59
WLAN ランプ	13
WMM	52
WPA	64
WPA2	64
WPA2-Mixed	58, 64
WPA2-PSK	58
WPA-PSK	58
WPA-PSK/WPA2-PSK	63
WPA ユニキャスト暗号スイート	36, 58
WPS	83
WPS/reset ボタン	13, 32
WPS 機能	57
WPS 設定	57
WPS ボタン	32
WPS ランプ	13, 32

あ行

アクセスコントロール画面	55
暗号化方式	58
暗号キー	36, 40, 44, 58

暗号化方式	36
インターネット接続ウィザード	14, 25, 28, 50

か行

管理ツール	14
関連クライアント	52
キーフォーマット	61
機器のステータス画面	75
基本設定	51
共有キーフォーマット	36, 58
工場出荷時の設定	87
固定 DHCP	66
固定 DHCP 設定画面	67
固定 DHCP リスト	67
固定 IP	71
固定 IP アドレス	30
固定 IP 方式	17

さ行

サービス情報サイト	80
サブネットマスク	66
サポートサービス	9
システム	75
手動設定	36
上級者向け設定画面	54
セキュリティ機能	58, 83
セキュリティ設定	58
設定情報シール	36, 40, 44, 58
設定ユーティリティ	14, 26
設定ユーティリティ画面	48
送信パワー	54

た行

対応ブラウザ	12
チャンネル	52
チャンネル幅	52
データレート	52
デフォルトゲートウェイ	66

電源ジャック	13
動作環境	12

な行

認証画面	26, 48
認証方式	36, 58

は行

パスフレーズ	64
パスワード設定画面	78
ビーコン間隔	54
ファームウェア更新画面	77
ファイアウォール設定	14, 74
フラグメントしきい値	54
プリアンブルタイプ	54
ブロードバンドモデム	15, 16
ホスト名	69

ま行

マルチ PPPoE	72
マルチ SSID	52, 53
無線 LAN	5, 31, 82
無線アクセスコントロール機能	55
無線アクセスコントロールリスト	55
無線親機	2
無線子機	2, 56
無線設定	14, 51
無線設定状況	76
無線帯域	52
無線ルータ	2

や行

有線クライアント	2
有線設定	14, 66



ホテル用モバイル無線LANルータ
LAN-W300N/RSxシリーズ
詳細マニュアル

発行  ロジテック株式会社 2013年3月10日 第2版

©2012-2013 LOGITEC CORPORATION. All rights reserved.